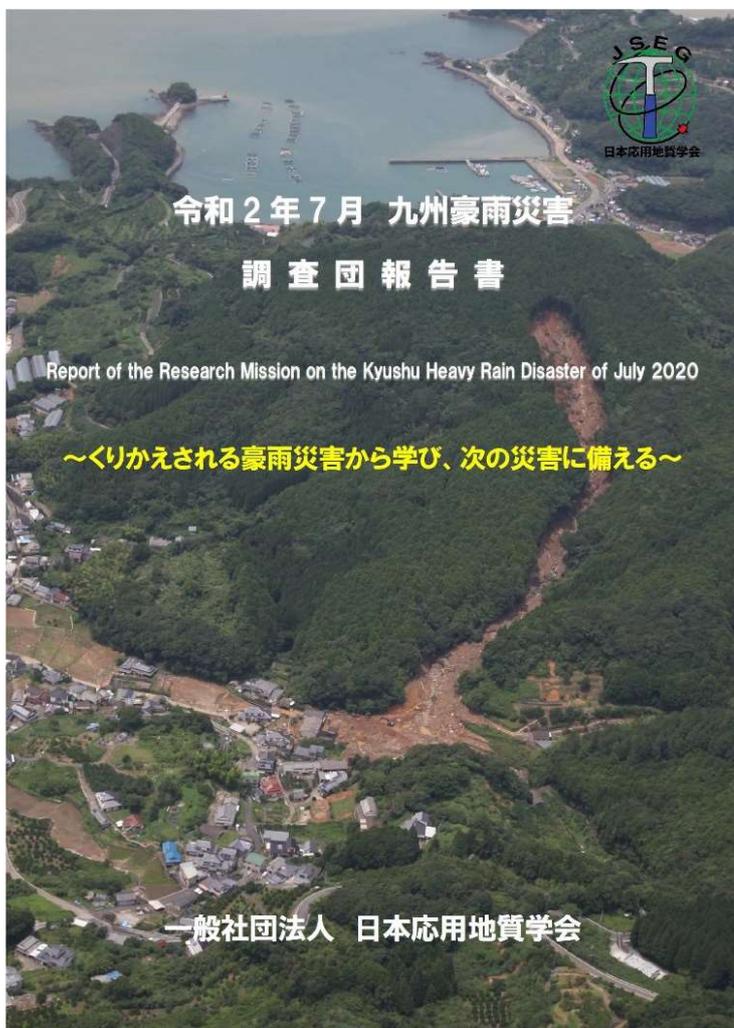


令和2年7月九州豪雨災害調査団 報告書

Report of the Research Mission on the Kyushu Heavy Rain Disaster of July 2020

～くりかえされる豪雨災害から学び、次の災害に備える～



令和2年7月豪雨災害では、全国で土砂災害、浸水災害等が発生しました。

これらの災害のうち、九州、特に熊本県南部を中心に発生した災害に対して結成された、日本応用地質学会による災害調査団の報告書がまとまりました。

日本応用地質学会は、本災害の社会的重要性を考慮して、同学会九州支部、災害地質研究部会、応用地形研究部会を中心としたメンバーからなる調査団を編成し、被害の特に大きかった球磨川流域を中心に現地調査を実施した。

本報告書はそれらを含めて、九州地方における「令和2年7月豪雨」災害に関する調査結果をとりまとめたものである。

近年、日本各地で大雨や台風による土砂災害、洪水災害が多発している。地球温暖化により、このような災害が頻発、激甚化することも予測されている。本報告書が今後の防災・減災対策の一助となれば幸甚である。

本報告書巻頭言からの抜粋

定 価：3,000 円（印刷版：価格は税込み）

A4 版 オールカラー 107 頁

ISBN978-4-931517-08-0・C3051

お問い合わせ・ご注文先



〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-3-14

お茶の水桜井ビル 7F

一般社団法人 日本応用地質学会 事務局

TEL:03-3259-8232 FAX:03-3259-8233

E-mail: office@jseg.or.jp

令和 2 年 7 月九州豪雨災害調査団報告書 目次

I. はじめに

- I-1. 巻頭言
- I-2. 令和 2 年 7 月九州豪雨災害調査団名簿
- I-3. 調査団メンバーと調査団の経緯

II. 災害の概要

- II-1. 気象と衛星画像情報による被害概要
- II-2. 航空写真からみた災害の概況

III. 斜面災害の調査報告

- III-1. 球磨地域の土砂災害の特徴および法令と住民避難との関係
- III-2. 洪水・斜面災害が発生した熊本県球磨・芦北・人吉地域の地形・地質学的背景
- III-3. 2020 年熊本県南部豪雨災害による岩盤崩壊の特徴について
- III-4. 球磨地域の土砂災害 2

IV. 洪水災害の調査報告

- IV-1. 球磨川流域の氾濫被害と地形特性
- IV-2. 球磨川流域の氾濫被害と地理学的考察

V. 地域災害報告

- V-1. 福岡県内の被害
- V-2. 大分県内の被害
- V-3. 長崎県内の被害
- V-4. 熊本県内の被害
- V-5. 鹿児島県内の被害
- V-6. 中部地方での土砂災害

VI. おわりに

- VI-1. おわりに
- VI-2. 表紙・裏表紙の説明
- VI-3. 編集後記

注文書

令和 2 年 7 月九州豪雨災害調査団報告書



日本応用地質学会

定 価 : 3,000 円 (印刷版)

(価格は税込み, 別途送料はご負担願います)

申 込 日 : 令和 年 月 日

購 入 内 容 : 印刷版 冊

申 込 者 名 : 会 員 番 号 :

所 属 先 名 :

送 付 先 : 自 宅 / 勤 務 先 (○で困ってください)

〒

電 話 :

E-mail :

ご注文先 : 一般社団法人日本応用地質学会 FAX:03-3259-8233

E-mail : office@jseg.or.jp